

事務事業名		農業集落排水施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	整備維持グループ	課長名	菅田雅人
	施策名	(16)下水道の整備		担当者名	渡部高志	電話番号	0854-42-3471
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。		(内線)	4612
	基本事業名	(044)下水道施設の整備		予算科目	会計 251501	大事業名	雲南市地区施設整備事業
目的:対象	下水道未整備区域の市民	意図	下水道に排水できるように整備する。	項目	101001	中事業名	雲南市地区施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 32 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
平成27年度採択の機能強化計画に基づき農業集落排水施設(8地区)の機能強化対策工事を実施する。 実施地区:宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動																														
	<table border="1"> <tr> <th>28年度実績(28年度に行った主な活動)</th> <th>29年度計画(29年度に計画する主な活動)</th> </tr> <tr> <td> 実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 詳細設計・更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式 管路台帳システム整備業務委託 1式 </td> <td> 実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式 </td> </tr> </table>	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)	実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 詳細設計・更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式 管路台帳システム整備業務委託 1式	実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式																										
28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)																														
実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 詳細設計・更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式 管路台帳システム整備業務委託 1式	実施地区 宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式																														
	② 活動指標																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 事業実施地区</td> <td>地区</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>イ 機能強化事業(処理施設)</td> <td>地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ウ 機能強化事業(ポンプ施設)</td> <td>箇所</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	ア 事業実施地区	地区	0	8	8	8	イ 機能強化事業(処理施設)	地区	0	0	6	3	ウ 機能強化事業(ポンプ施設)	箇所	0	0	3	3	エ					
	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)																										
ア 事業実施地区	地区	0	8	8	8																										
イ 機能強化事業(処理施設)	地区	0	0	6	3																										
ウ 機能強化事業(ポンプ施設)	箇所	0	0	3	3																										
エ																															

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	供用開始から7年以上を経過した集落排水処理施設(8地区)	ア 事業地区処理人口	人	4,938	4,846	4,800	4,800
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
機能強化事業により、処理施設及び中継ポンプ所の機械電気設備の更新(長寿命化)を行う。	ア 事業地区接続人口	人	4,539	4,510	4,422	4,440	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
委託料	19,686千円	財源内訳	国庫支出金	千円		1,200	17,548	10,000
工事請負費	30,840千円		県支出金	千円				
計	50,526千円		地方債	千円			17,500	10,300
			その他	千円	1,601	1,284	15,478	
			一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	1,601	2,484	50,526	20,300	
人件費		正規職員従事人数	人	1	3	3		
		延べ業務時間	時間	90	200	1,200		
		人件費計(B)	千円	350	783	4,760		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,951	3,267	55,286		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水施設については22箇所あり、供用開始からかなりの年数が経ったものもあり、老朽化が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度8地区について機能強化対策事業計画を作成し、平成28年度から施設の詳細設計及び更新工事に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理業者から、老朽化した機械設備等について早急な修繕又は施設改善の要望が寄せられている。

事務事業名	農業集落排水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	供用開始から7年を経過した施設の8地区について、平成27年度に機能強化対策事業の計画概要書を作成した。平成28年度より交付金を活用した施設の改築や更新を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はなく現在、統廃合・連携は出来ない。(長期的な構想による公共下水道、農業集落排水処理施設等の連携・統合の検討が必要である)		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	機能強化対策事業など交付金を活用した事業に取り組む。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	平成28年度は委託及び工事であり、削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益者等の負担はなく、公平である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
* 農業集落排水施設の修繕や更新は、必要不可欠である。事後保全から、予防保全へシフトすることが必要である。				
* 面整備については完了したが、経年による機械設備の劣化が課題となっている。そのため平成27年度作成した機能強化対策計画に基づき改築・更新工事を実施している。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																					
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
<p>・平成27年度作成した機能強化対策計画に基づき、平成28年度より施設の改築・更新工事を実施している。</p> <p>・今後、汚水処理施設整備構想の中で公共下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合について検討していく。</p> <p>・管路台帳をデータベース化したことにより、管路の維持管理・迅速な処理・災害対応・精度改善などの向上を図る。</p>																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								